

会 社 名 日 鉄 鋼 板 株 式 会 社
 (URL <http://www.nittetsu-kouhan.co.jp/>)
 代表者名 代表取締役社長 服部 正幸
 (コード番号 5454 東証・大証 第一部)
 問合せ先 取締役経理部長 山口 哲朗
 TEL (03) 5653 - 5123

平成16年3月期の業績見通しについて (四半期業績の概況の開示)

当社の平成16年3月期の業績見通しにつきまして、下記の通りお知らせ致します。なお、これは、(株)東京証券取引所の定める適時開示規則に基づく四半期業績の概況の開示も兼ねて行うものです。

記

1. 当期の業績予想(平成 15年 4月 1日 ~ 平成 16年 3月 31日)

連結決算

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
今回発表予想(A)	70,000	2,100	450
前回発表予想(B) (平成 15年11月 6日 発表)	70,000	1,700	900
増減額(A - B)	-	400	450
増減率	-	23.5%	50.0%
(参考)前期(平成15年 3月期)実績	52,226	127	1,225

単独決算

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
今回発表予想(A)	63,800	1,150	200
前回発表予想(B) (平成 15年11月 6日 発表)	63,300	1,000	700
増減額(A - B)	500	150	500
増減率	0.8%	15.0%	71.4%
(参考)前期(平成15年 3月期)実績	46,071	39	1,141

2. 業績予想について

鉄鋼業界を取り巻く経営環境は、中国の景気拡大による旺盛な需要を背景とした堅調な輸出環境に加え、これまで低迷を続けてきた国内建設需要にもようやく下げ止まり感が見られ、楽観はできないものの一部民間設備投資に明るさが見受けられる状況にあります。

このような環境の下、社を挙げて収益対策に取り組んでいる中で、コスト改善については計画を上回る成果を挙げ、中期計画を1年前倒しで達成できる見込みであります。一方で、販売価格の改善につきましても着実に成果を挙げつつあり、現状の騰勢を強める原材料等の価格上昇に対して今後の不安要因を残すものの、今期の連結・単独経常損益は前回申し上げました業績予想を上回る見込みであります。

また、当期純利益につきましては、連結財務体質の一層の強化を図るべく、固定資産の減損会計制度を当期から早期適用することにより前回予想を下回る見込であります。

3. 期末配当について

以上のように、製販一体となった収益改善努力が功を奏し、財務体質強化に向けた減損会計の早期適用を実施したうえで3期ぶりに当期純利益を確保できる見通しとなり、平成13年3月期以来3期振りに復配(一株につき2円)する方針であります。

[参考]

1. 特別損益の内訳(連結)

投資有価証券売却益	6.1億円程度
固定資産売却損	2.1億円程度
固定資産廃却損	1.5億円程度
固定資産減損損失	9.5億円程度
退職給付債務の積立不足償却額	2.8億円程度
特別退職金	2.0億円程度
その他	1.1億円程度
特別損益合計	12.9億円程度

2. 事業統合3社(事業持株会社:日鉄鋼板+2製造会社:大同鋼板、大洋製鋼)の業績予想

平成14年10月1日に大同鋼板(株)と大洋製鋼(株)は事業統合を行い、両社の経営統括機能、営業機能、技術開発機能を有する事業持株会社の日鉄鋼板(株)の傘下に東西2製造会社を配置する3社体制となり、事業持株会社である日鉄鋼板(株)のもと、一体運営を行ってまいりました。

事業統合3社連結の通期業績見込は以下のとおりです。

(本年4月1日を期して、当社は製造会社の大同鋼板(株)及び大洋製鋼(株)を吸収合併いたします。)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
今回予想	64,000	1,900	400
前回発表時の予想	63,500	1,500	850

以上